

授業科目名	保育原理	担当教員名	川人 公一
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	教育の基礎理解に関する科目-教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 / 保育の内容・方法に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長としてのとしての実務経験に加え、小学校校長としての学校運営に関わる実務経験を活かして授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	保育の意義や目的、乳幼児の発達の特徴を学び、その育ちのためにはどのような援助(保育) が必要かを習得し、保育者としての意義や役割を理解し、その専門性を高めていくための方法を学ぶ。		
到達目標	<p>(1)教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。</p> <p>①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。 ②子ども・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。</p> <p>(2)教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。</p> <p>①家族と社会による教育の歴史を理解している。 ②近代教育制度の成立と展開を理解している。 ③現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。</p> <p>(3)教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。</p> <p>①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。 ②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。 ③代表的な教育家の思想を理解している。</p>		
テキスト	「新保育ライブラリ・保育原理 新版」民秋言・千葉武夫・河野利津子編著（北大路書房）		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）,授業中、適宜紹介する。		
成績評価の方法	理解度・到達度チェック（筆記形式）50%、課題（レポート）30%、コメントシート提出10%、平常点10%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等			
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	* オリエンテーション * 保育の本質 ・保育とは ・保育の意義	(1)-①	
第2回	* 保育の本質 ・保育の場としての集団 ・保育の場としての家庭	(1)-②	
第3回	* 乳幼児の理解 ・生涯発達における乳幼児の意義 ・乳幼児の心とからだの発達特性	(1)-②	
第4回	* 保育の歴史 ・子どもの発見 ○課題（レポート）	(2)-①,(2)-②	
第5回	* 保育の歴史 ・世界の保育の歴史	(2)-②	
第6回	* 保育の歴史 ・日本の保育の歴史1	(2)-③	
第7回	* 保育の歴史 ・日本の保育の歴史2 ○課題（レポート）	(2)-②	
第8回	* 保育の目的 ・戦前の保育の目的 ・戦中・戦後の保育の目的 ・現在の保育の目的	(2)-③	
第9回	* 保育のねらいと内容 ・保育内容の意義 ・保育内容の歴史の変遷 ・幼稚園教育要領の改訂と保育所保育指針の改定	(2)-③,(3)-①	
第10回	* 保育のねらいと内容 ・新支援制度における「幼保連携型認定こども園」の目的と保育内容 ・保育方法の原理		
第11回	* 保育の方法 ・保育方法の原理 ・保育の形態と子どもの活動 ・遊びによってもたらされる創造的な体験		
第12回	* 保育の環境 ・環境とは ・子どもを取り巻く環境の変化 ・保育の環境 ・保育者という環境 ○課題（レポート）		
第13回	* 教育課程、保育課程 ・教育課程、保育課程の基本 ・教育課程、保育課程の編成	(3)-①	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第14回	<ul style="list-style-type: none"> * 教育課程、保育課程 ・ 指導計画の基本、教育課程、保育課程の評価 ・ 指導計画の基本、教育課程、保育課程の実践例 ○ 課題（レポート） 	
第15回	<ul style="list-style-type: none"> * 現代保育の課程 ・ 保育のサービスの質の向上と評価 * まとめと演習 ○ 理解度・到達度チェック（筆記形式） 	